

# 政治学科

2010

整理番号	科目名	学期	配当年次・単位	担当教員
110	政治学演習α(田中愛治)	通年	3年以上：4単位	田中 愛治 政政・経演・国演

## 副題

現代政治学の実証分析・計量分析

## 講義概要

現代政治現象の実証的な分析方法を実践的に学ぶ。日本および海外の投票行動・政治意識（世論）が担当教員の主な関心であるが、ゼミ生は政治過程全般に少しひろくテーマを設定しても良い。その中で、政治学的に意味のある仮説を立て、仮説の実証的な検証方法を学び、説得力をもった議論の展開の方法を身につけるように心がけたい。また、専門書や学术论文を読むことも、実証分析との関連で必要となるだろう。

3年生は秋の早稲田祭にグループごとに共同研究（グループワーク）の成果を発表するので、6月中旬から10月末までは、グループごとにその作業にとりかかる予定。

4年生は、各自が実証研究のテーマを設定して、卒論研究を行う。

夏休みは9月にゼミ合宿を行う予定。また年度の末に向けて、同志社大学と遠隔（テレビ会議方式）合同ゼミでプレゼンを互いに行う予定。

## シラバス (授業計画)

- 第1回：実証政治分析の考え方
- 第2回：実証分析の方法論を学ぶ：高根正昭『創造の方法学』（1）
- 第3回：実証分析の方法論（2）高根正昭『創造の方法学』3章
- 第4回：実証分析の方法論（3）高根正昭『創造の方法学』4章
- 第5回：実証分析の方法論（4）高根正昭『創造の方法学』5章 前半
- 第6回：実証分析の方法論（5）高根正昭『創造の方法学』5章 後半
- 第7回：実証分析の方法論（6）高根正昭『創造の方法学』6章～終章
- 第8回：計量分析の実習（1）パソコンによる統計分析 SPSS(1)
- 第9回：計量分析の実習（2）パソコンによる統計分析 SPSS(2)
- 第10回：計量分析の実習（3）パソコンによる統計分析 SPSS(3)
- 第11回：計量分析の実習（4）パソコンによる統計分析 SPSS(4)
- 第12回：グループワークのテーマ設定（1）
- 第13回：グループワークのテーマ設定（2）－グループ分け（テーマ別に）
- 第14回：グループワークによるデータ収集
- 第15回：テーマ別にグループ毎の夏休みの作業方針の決定
- 第16回：グループワークのグループ毎のデータ分析（1）
- 第17回：グループワークのグループ毎のデータ分析（2）
- 第18回：早稲田祭発表の準備・プレゼンテーション練習（1）
- 第19回：早稲田祭発表の準備・プレゼンテーション練習（2）
- 第20回：政経学部論文コンクールに向けて研究開始
- 第21回：政経学部論文コンクールに向けて分析(1)
- 第22回：政経学部論文コンクールに向けて分析(2)
- 第23回：政経学部論文コンクールに向けて執筆開始
- 第24回：政経学部論文コンクールに向けて完成
- 第25回：同志社大学との合同ゼミに向けてグループごとの分析とプレゼン(1)
- 第26回：同志社大学との合同ゼミに向けてグループごとの分析とプレゼン(2)
- 第27回：同志社大学との合同ゼミに向けてグループごとの分析とプレゼン(3)
- 第28回：各自卒論のテーマ設定とプレゼン（1）－卒業後の進路検討（1）
- 第29回：各自卒論のテーマ設定とプレゼン（2）－卒業後の進路検討（2）
- 第30回：各自卒論のテーマ設定とプレゼン（3）－卒業後の進路検討（3）

## 教科書

伊藤光利、田中愛治、真淵勝『政治過程論』有斐閣（2000年4月）  
久米郁男、川出良枝、古城佳子、田中愛治、真淵勝『政治学』有斐閣（2003年12月）  
高根正昭『創造の方法学』講談社新書

## 参考文献

ゼミの中で紹介する。

## 評価方法

出席率を重視する。ゼミレポート、ゼミ発表も必ず行う。卒論は必須。

## 関連URL

授業初回または説明会（開催予定）の際に、お知らせします。

## 備考

学生に対する要望

関連科目 「政治過程論」「計量政治学」は履修してもらいたい。ゼミへの出席は重視し、100%出席が原則と考えてもらいたい。